

令和6年第2回士別市議会定例会会議録（第1号）

令和6年6月7日（金曜日）

午前10時00分開会

午前11時44分散会

本日の会議事件

開会宣告

会議録署名議員の指名

諸般の報告

日程第 1 会期の決定について

日程第 2 行政報告について

日程第 3 常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任について

日程第 4 常任委員会正副委員長及び議会運営委員会正副委員長の選任について

日程第 5 報告第 5号 繰越明許費繰越計算書について

報告第 6号 予算繰越計算書について

日程第 6 報告第 7号 事故繰越し繰越計算書について

日程第 7 議案第 44号 士別市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について

日程第 8 議案第 45号 士別市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について

日程第 9 議案第 46号 士別市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

議案第 81号 令和6年度士別市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

日程第10 議案第 47号 士別市放課後等デイサービスセンター条例の一部を改正する条例について

議案第 48号 士別市子ども通園センター条例の一部を改正する条例について

日程第11 議案第 49号 士別市介護保険総合条例の一部を改正する条例について

日程第12 議案第 50号 士別市下水道条例の一部を改正する条例について

議案第 51号 士別市個別排水処理施設条例の一部を改正する条例について

日程第13 議案第 52号 北海道後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について

日程第14 議案第 53号 士別市農業委員会委員の任命について

日程第15 議案第 54号 士別市農業委員会委員の任命について

議案第 55号 士別市農業委員会委員の任命について

議案第 56号 士別市農業委員会委員の任命について

議案第 57号 士別市農業委員会委員の任命について

議案第 58号 士別市農業委員会委員の任命について

	議案第	59号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	60号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	61号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	62号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	63号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	64号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	65号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	66号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	67号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	68号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	69号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	70号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	71号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	72号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	73号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	74号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	75号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	76号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	77号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	78号	士別市農業委員会委員の任命について
	議案第	79号	士別市農業委員会委員の任命について
日程第16	議案第	80号	令和6年度士別市一般会計補正予算（第3号）
日程第17	議案第	82号	令和6年度士別市下水道事業会計補正予算（第1号）
日程第18	議案第	83号	令和6年度士別市病院事業会計補正予算（第2号）
日程第19	諮問第	1号	人権擁護委員候補者の推薦について
	諮問第	2号	人権擁護委員候補者の推薦について
日程追加	特定事件の閉会中継続審査について		
散会宣告			

出席議員（13名）

副議長	1番	村 上 緑 一 君	2番	石 川 陽 介 君
	3番	湊 祐 介 君	4番	中 山 義 隆 君
	5番	加 納 由美子 君	6番	奥 山 かおり 君
	7番	西 川 剛 君	8番	佐 藤 正 君
	9番	真 保 誠 君	10番	喜 多 武 彦 君

12番 大西 陽 君
議長 15番 山居 忠彰 君

13番 十河 剛志 君

欠席議員（1名）

11番 谷 守 君

出席説明員

市長	渡辺 英次 君	副市長	法 邑 和 浩 君
総務部長	大橋 雅民 君	市民部長	丸 徹 也 君
健康福祉部長	東川 晃宏 君	経済部長	坂本 英樹 君
建設環境部長	藪中 晃宏 君		

教育委員会 教 育 委 員 会 長	泉 山 浩 幸 君	教育委員会 教 育 委 員 会 長	三 上 正 洋 君
----------------------	-----------	----------------------	-----------

市立病院 副 管 理 者	中 舘 佳 嗣 君	経営管理部長	池 田 亨 君
-----------------	-----------	--------	---------

農業委員会 農 業 委 員 会 長	保 科 隆 志 君	農業委員会 農 業 委 員 会 長	林 秀 忠 君
----------------------	-----------	----------------------	---------

監査委員	浅 利 知 充 君	監査委員 監 査 委 員 会 長	四ツ辻 秀 和 君
------	-----------	---------------------	-----------

事務局出席者

議会事務局長	岡 崎 忠 幸 君	議会事務局 議 会 事 務 局 長	須 藤 友 章 君
議会事務局 議 会 事 務 局 主 査	中 井 聖 子 君	議会事務局 議 会 事 務 局 主 査	清 水 健 正 君

(午前10時00分開会)

○議長（山居忠彰君） 令和6年第2回定例会が招集されましたところ、ただいまの出席議員は13名であります。定足数を超えておりますので、議会は成立いたしました。

ただいまから開会いたします。

直ちに会議を開きます。

○議長（山居忠彰君） 本定例会の会議録署名議員には、5番 加納由美子議員、6番 奥山かおり議員、7番 西川 剛議員を指名いたします。

○議長（山居忠彰君） ここで、事務局長から諸般の報告をいたします。

○議会事務局長（岡崎忠幸君） 御報告申し上げます。

初めに、議員の欠席についてであります。11番 谷 守議員から欠席の届出があります。

次に、本日の議事日程及び諸報告についてであります。配信のとおりでありますので、朗読を省略いたします。

以上で報告を終わります。

(朗読を経ないが掲載する)

1. 市長から送付された議案は次のとおりである。

報告第5号 繰越明許費繰越計算書について

報告第6号 予算繰越計算書について

報告第7号 事故繰越し繰越計算書について

報告第8号 出資団体の経営状況報告について（士別市農畜産物加工株式会社）

報告第9号 出資団体の経営状況報告について（株式会社翠月）

報告第10号 出資団体の経営状況報告について（羊と雲の丘観光株式会社）

報告第11号 出資団体の経営状況報告について（まちづくり士別株式会社）

議案第44号 士別市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について

議案第45号 士別市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第46号 士別市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

議案第47号 士別市放課後等デイサービスセンター条例の一部を改正する条例について

議案第48号 士別市子ども通園センター条例の一部を改正する条例について

議案第49号 士別市介護保険総合条例の一部を改正する条例について

議案第50号 士別市下水道条例の一部を改正する条例について

議案第51号 士別市個別排水処理施設条例の一部を改正する条例について

議案第52号 北海道後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について

議案第53号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第54号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第55号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第56号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第57号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第58号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第59号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第60号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第61号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第62号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第63号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第64号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第65号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第66号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第67号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第68号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第69号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第70号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第71号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第72号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第73号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第74号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第75号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第76号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第77号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第78号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第79号	士別市農業委員会委員の任命について
議案第80号	令和6年度士別市一般会計補正予算（第3号）
議案第81号	令和6年度士別市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
議案第82号	令和6年度士別市下水道事業会計補正予算（第1号）
議案第83号	令和6年度士別市病院事業会計補正予算（第2号）
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について

2. 監査委員から送付された報告は次のとおりである。

例月現金出納検査の結果に関する報告 1月、2月、3月分

3. 議長会の関係については次のとおりである。

(1) 全国自治体病院経営都市議会協議会第52回定期総会

- イ. 開催日 令和6年5月14日
- ロ. 開催地 東京都千代田区
- ハ. 出席者 山居議長
- ニ. 会議概要 令和5年度決算外2件について協議した後、役員改選を行い、決議を行い、終了した。

(2) 北海道市議会議長会中央実行運動

- イ. 開催日 令和6年5月21日
- ロ. 要望先 北海道選出国會議員及び関係省庁
- ハ. 出席者 山居議長
- ニ. 要望事項
 - ・北海道新幹線の建設促進について
 - ・学校施設等への冷房設備の整備について
 - ・北方領土問題の早期解決等について
 - ・地域医療体制の充実確保について
 - ・北海道の道路整備について

(3) 全国市議会議長会第100回定期総会

- イ. 開催日 令和6年5月22日
- ロ. 開催地 東京都千代田区
- ハ. 出席者 山居議長
- ニ. 会議概要 表彰式の後、事務報告、委員会報告の後、部会提出議案27件及び会長提出議案7件を審議し、役員改選を行い終了した。

(4) 上川北部市町村議会議長会5月定例会（総会）

- イ. 開催日 令和6年5月29日
- ロ. 開催地 北海道下川町
- ハ. 出席者 山居議長
- ニ. 会議概要 事業報告の後、上川北部市町村議会9月定例会外1件について協議した後、下川町地域ビジョンについて講演を聴講し、終了した。

4. 本会議に出席する者は次のとおりである。

市 長	渡 辺 英 次	副 市 長	法 邑 和 浩
総 務 部 長	大 橋 雅 民	市 民 部 長	丸 徹 也
健康福祉部長	東 川 晃 宏	経 済 部 長	坂 本 英 樹
建設環境部長	藪 中 晃 宏	市 民 部 長 朝 日 支 所 長	佐 藤 義 弘

建設環境部 都市整備統括監 兼都市環境課長	佐々木 誠	企画課長	増田 晶彦
総務課長 (併)選挙管理 委員会事務局長	水 留 啓 諭	財政課長	佐藤 寛之
くらし安全課長	青 木 伸 裕	市民課長	阿 部 淳
税 務 課 長	阿 部 也 志	朝日支所 地域生活課長	岡 崎 浩 章
朝日支所 地域生活管理監 (併)地域文化 課長	島 田 英 貴	上士別出張所長 兼上士別構造一 改善センター長	興 水 賢 治
多寄出張所長 兼多寄研修 センター所長 兼多寄構造改善 センター所長	川 原 広 幸	温根別出張所長 兼温根別生活改善 センター所長 兼温根別多目的 研修集会施設所長	佐々木 憲 也
地域福祉課長	瀧 上 聡 典	こども・子育て 応援課長	武 山 鉄 也
高齢者福祉課長	青 木 秀 敏	高齢者福祉課 介護予防推進 管理監	東海林 優 子
保健福祉 センター所長 兼成人病健診 センター所長	川 原 淳 子	農業振興課長	藤 田 昌 也
農業振興課 農地管理監	喜 多 伸 光	畜産林務課長	市 橋 信 明
商工労働観光課長	久 光 徹	都市環境課 都市環境管理監 兼バイオマス資源 堆肥化施設施設長	村 田 雄 大
建 築 課 長	峯 垣 智 剛	施設維持センター 所長	山 下 正 明
環境センター所長	今 井 博 明	上下水道局長	土 田 実
上下水道局 上下水道管理監	中 井 康 寛	市民課副長	古 川 さおり
商工労働観光課 副長	木 村 哲 晃	上下水道局 副局長	樫 木 孝 士
教育委員会 教 育 会 長	泉 山 浩 幸	教育委員会 生涯学習部長	三 上 正 洋
教育委員会 学校教育課長	岡 田 詔 彦	教育委員会 学校教育課 高等学校管理監 兼上士別高等学校 事務局長	岡 田 英 俊

教育委員会
学校給食センター
所長

河 口 光 輝

教育委員会
社会教育課長

千 葉 真奈美

教育委員会
中央公民館館長
兼市民文化
センター館長

庄 司 伸 一

教育委員会
図書館館長
兼生涯学習情報
センター所長

佐 藤 祐 希

教育委員会
博物館館長
兼公会堂展示館長

大 留 義 幸

教育委員会
合宿の里・スポーツ
推進課館長
兼総合体育館
兼交流館スポーツ
館長

徳 竹 貴 之

教育委員会
合宿の里・スポーツ
推進課地域推進
スポーツ推進
管理総合体育館
兼副館長
兼スポーツ
交流館副館長

黒 沼 淳 一

教育委員会
学校教育課副長

伊 藤 昌 彦

教育委員会
学校給食センター
副館長

丸 奈央子

教育委員会
社会教育課副長

佐 藤 和佳子

教育委員会
中央公民館副館長
兼市民文化
センター副館長

高 橋 幸 人

教育委員会
図書館副館長
兼生涯学習情報
センター副館長

藤 田 昌 宏

教育委員会
合宿の里・スポーツ
推進課副館長

上 川 学

市立病院
病院事業副管理者

中 舘 佳 嗣

市立病院
経営管理部館長
市立病院
医事課館長
市立病院
総務課主幹
農業委員会
職務代理者

池 田 亨

市立病院
総務課館長

半 澤 浩 章

田 上 泰 成

市立病院
総務課副館長

水 村 友 博

木 島 啓

市立病院
農業委員会
会長

保 科 隆 志

上 野 浩 二

農業委員会
会長

林 秀 忠

監 査 委 員

浅 利 知 充

農事
監事

四ツ辻 秀 和

5. 本会議の事務に従事する者は次のとおりである。

議会事務局長

岡 崎 忠 幸

議会事務局
総務課長

須 藤 友 章

議会事務局
総務課主査

中 井 聖 子

議会事務局
総務課主任主事

清 水 健 正

以上報告する

令和6年6月7日

士別市議会議長 山居 忠彰

○議長（山居忠彰君） それでは、これより議事に入ります。

日程第1、会期の決定についてを議題に供します。

お諮りいたします。本定例会の会期は本日から6月21日までの15日間と決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は本日から6月21日までの15日間と決定いたしました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第2、行政報告についてを議題に供します。

行政報告を求めます。渡辺市長。

○市長（渡辺英次君）（登壇） 令和6年第2回定例会に当たり、諸般の報告をいたします。

初めに、第2次総合計画の策定についてです。

4月1日に士別市まちづくり総合計画策定本部を設置しました。今後は本部内に設置した課長・副長職で構成する幹事会において庁内計画案の編成作業に取り組んでまいります。

また、4月26日には振興審議会を開催し、本計画の策定について諮問を行いました。この後、アンケート調査をはじめ、各種団体や地域との意見交換などを通じ、多くの市民の参画を得て作業を進めます。

次に、農業関係についてです。

本年は雪解けが順調に進み、耕起・播種・移植などの農作業は、全般的に順調に推移しています。

主要作物の現状を申し上げますと、水稻は、天候に恵まれ、耕起・移植作業も滞りなく終了したところです。

畑作物では、秋まき小麦はおおむね平年並みに生育しています。春まき小麦、豆類、てん菜、タマネギ、バレイショについても播種作業は終了し、生育も順調に推移している状況です。

気象庁が発表した長期予報によりますと、今夏は気温が平年より高く、降水量は平年並みと予想されていますが、気象状況に合わせた栽培・品質管理対策を十分に行うとともに、農作業中の熱中症や安全対策などについては、関係機関との連携により万全を期していただき、豊穡の秋が迎えらるよう期待するところです。

次に、地域経済循環分析についてです。

令和5年度の地域経済循環分析は、4年度の結果を基に、新築・リフォーム助成事業やスポーツ合宿センター翠月、ふるさと納税額の増加がもたらす経済波及効果についてシミュレーションを実施しました。

分析の結果、いずれの施策についても、相応の経済波及効果が確認されたことから、今後、各施策の方向性を検討する際などの基礎資料として活用してまいります。

次に、ゴールバーン・マルワリー市訪問団の来市についてです。

ゴールバーン・マルワリー市との姉妹都市提携25周年を記念し、ピーター・ウォーカー市長

をはじめとする14人の訪問団が4月17日から22日にかけて本市を訪れました。

滞在中は、公共施設の見学や公式会談などを通じて、両市の行政運営について意見交換を行ったほか、25周年の記念祝賀会を開催し、これまでの交流活動に御尽力された各種団体や市民にも参加をしていただき、活動の経過を振り返るとともに、30周年に向けて、さらなる交流の深化を互いに確認しました。

7月10日からはゴールバーン・マルワリー市の高校生7人が本市で短期留学を行う予定であり、現在、受入れ体制等の準備を進めています。

次に、地域おこし協力隊についてです。

4月1日から新たに羊飼養、地域振興及び起業型の分野で各1人が着任しました。

これにより、現在は10人の隊員が地域の活性化や定住に向けた活動に取り組んでいるところです。

昨年と同様に、共同でのイベント参加や交流の場を設置するなど、隊員同士のつながり強化に努めることで、不安なく充実した活動が行える環境を整備するとともに、関係各所と連携しつつ、活動への支援に取り組んでまいります。

次に、立地企業との連携についてです。

3月27日に、昨年7月に本市に北海道工場を開設した三協精器工業株式会社と共に、立地企業に対する市民の理解や関心を深め、市と事業所の一層の連携強化を目的に市民見学会を開催しました。

当日は多くの市民が参加し、会社説明のほか、実際に機械を操作してばねを製造するなど、ふだんは触れ合う機会の少ないものづくりの現場を体験しました。

次に、中士別地区の道営農地整備事業についてです。

平成27年度から開始した本事業は、5年度末までに377.2ヘクタールの工事を完了しました。

今年度は28.2ヘクタールの基盤整備が予定されており、全体受益面積1,137.6ヘクタールに対し約36%の完了が見込まれます。

引き続き、てしおがわ土地改良区・JA北ひびきと連携し、着実な事業の推進に努めます。

次に、災害対策本部訓練についてです。

去る6月4日に上川総合振興局危機対策推進幹を講師に、災害対策本部訓練を実施しました。出水期を前に、警報の発表から避難指示の発令、その後の災害対応を想定した状況判断と併せて、本年1月の能登半島地震を受けて、冬季の地震発生時における初動やこれまで訓練を行ってきた水害とは異なる心構えについて確認を行いました。

引き続き、避難所開設訓練や若手職員を対象とした危機管理訓練を行い、万全な体制で災害の発生に備えてまいります。

次に、合宿の受入れについてです。

5年度の受入れ実績は、スポーツと文化を合わせて434団体、延べ2万1,815人となりました。このうちスポーツ分野は415団体、延べ2万1,177人で、前年度よりも62団体、5,888人増加し

ました。文化の分野では8団体、344人の減少となりました。スポーツ合宿延べ人数は、昨年、本市で全国高等学校総合体育大会が開催されたこともあり、対前年度比38.5%の増加、コロナ禍前の元年度と比べても2.4%の増となりました。

こうした中、6年度の合宿受入れ拡大に向けて、4月には中央競技団体や大学などに合宿の里士別としてのトップセールスを実施してきました。

ゴールデンウィークには、道内9校による高校女子バレーボール部の合同合宿、5月12日から2週間の日程で台湾ウエイトリフティングナショナルチームのパリオリンピック事前合宿が行われました。

また、日本郵政グループ女子陸上部を皮切りに、5月27日から陸上競技の合宿受入れを開始しました。

次に、朝日地区の義務教育の在り方についてです。

5月13日に朝日地区の義務教育の在り方について、保護者説明会を開催しました。

これまで朝日中学校の今後については、朝日地区の小・中学校の保護者を中心に御意見をいただきながら協議を重ねる中で、義務教育学校として中学校を残したいとの要望を確認していましたが、当初の想定を上回る児童・生徒数の減少が見込まれるため、朝日中学校の校舎を使わない方向での提案を改めて行ったところです。

今回の説明会では、小・中学校の保護者のほか、就学前の子供を抱えるあさひ認定こども園の保護者にも経過を説明し、多くの御意見をいただきました。併せて、説明会を欠席された方からも御意見をいただくため、全保護者を対象にアンケートを実施しているところです。

この後は、アンケートの御意見を参考にしながら、協議を重ねつつ、義務教育の在り方について方向性を見いだしてまいります。

次に、市立病院の経営状況についてです。

5年度は、経営改革プランに沿って病院運営を行ってきたところですが、新型コロナウイルス感染症の拡大により休止した病棟が経営に大きな影響を及ぼしました。新型コロナが5類感染症移行後も引き続き2階病棟を休止したことにより、入院患者数は一般・療養病棟合わせて前年度比4.3%減の約3万4,600人となるとともに、多くの依頼があったPCR等の検査が激減したことに伴い、外来患者数は6.5%減の約9万900人となるなど厳しい状況となりました。

医業収益は、入院は前年度に対し2,500万円の増、外来は1億2,100万円の減となるとともに、電気料金や燃料費等の光熱費・給食食材費の高騰もあり、新型コロナによる減収影響等の臨時財政措置として約9,000万円の補填を受けてもなお1億7,300万円の純損失が見込まれることとなり、4年度に続き内部留保資金で補填することとしました。その結果、年度末資金残は対前年度比で約1億6,900万円減となり、その累計額は約3億6,700万円となる見込みです。

現在は、患者さん中心の医療を基本理念とする経営強化プランを着実に実践するべく、回復期病床の充実に向けた2階病棟の再開や消化器内科医師の招聘など取組を開始しているところです。

今後も、名寄市立総合病院及び地域医療連携推進法人との協調の深化と、持続可能な経営基盤の構築を進め、地域包括ケアシステムの中心的役割を果たすべく病院経営に取り組んでまいります。

次に、行政組織の機構改革についてです。

4月の人事異動は、子育て世代包括支援センターの母子保健機能と家庭児童相談室の機能を併せ持つこども家庭センターの開設や、地域福祉課、高齢者福祉課の設置などの少子高齢化に対応した組織の再編を進め、組織全体のさらなる効率化と最適化を目指した人事配置を行いました。

また、段階的に定年年齢が延長され、61歳に達する年度以降も非管理職として勤務する職員については、主に後進の育成と組織体制の強化のため、指導主査として勤務しています。

次に、新型コロナワクチン予防接種についてです。

本市では、3年4月から施設接種を開始し、最後の接種となった3月27日までの約3年間で保健福祉センターを主体に564回の集団接種を実施し、延べ5万5,126人へ接種を行ったところ

です。接種全体を通して、市民から53件の副反応に関する相談がありましたが、解熱剤の服用や病院の受診、北海道の相談センターの紹介など、保健師がその対応に当たりました。このうち、医療機関が予防接種後の副反応疑いと診断し、国に報告した件数は1件で、この方については、その後、入院治療により改善されたとの報告を受けています。

今後の接種については、季節性インフルエンザと同様の扱いとなり、接種費用はこれまで無料でしたが有料となります。本市では、市立病院の接種費用を基準として自己負担額を決定する予定ですが、ワクチン代が未定であるなど、負担額を決定できない状況もあるため、今後の情報を注視しつつ、他市の状況も参考にしながら、接種に支障のないよう予算化を行ってまいります。

実際の接種に当たっては、ワクチンの効果とリスクについても十分に説明を行うとともに、他の予防接種と同様、市内医療機関による個別接種として実施できるよう、医療機関と協議を進めます。

最後に、公共工事の執行状況についてです。

今年度における建設工事等の発注については、3月に発注済みのゼロ市債事業を含め132件、約12億4,438万円を予定したところです。

この5月末日までに、土別下水処理場電気設備更新工事、茂志利トンネル照明更新工事など、予定件数の約28.8%、38件の発注を終えたところであり、発注総額は約3億3,342万円となりました。なお、平均落札率は96.97%となっています。

今後、スポーツ合宿センター浴室改修工事、緊急時給水拠点確保事業配水管布設替工事などの発注を予定しており、引き続き、市内の経済情勢を考慮し、適切な発注に努めてまいります。

以上申し上げ、諸般の行政報告といたします。 （降壇）

○議長（山居忠彰君） 以上で行政報告を終わります。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第3、常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任を行います。

この選任については、士別市議会委員会条例第7条第1項の規定により、議長が会議に諮って選任することになっておりますので、直ちに常任委員会委員及び議会運営委員会委員の氏名を事務局長が朗読いたします。

○議会事務局長（岡崎忠幸君） 常任委員会委員及び議会運営委員会委員の御氏名を申し上げます。

総務産業常任委員会委員に石川陽介議員、大西 陽議員、真保 誠議員、中山義隆議員、西川 剛議員、村上緑一議員。

文教厚生常任委員会委員に奥山かおり議員、加納由美子議員、喜多武彦議員、佐藤 正議員、十河剛志議員、谷 守議員、湊 祐介議員。

予算決算常任委員会委員に石川陽介議員、大西 陽議員、奥山かおり議員、加納由美子議員、喜多武彦議員、佐藤 正議員、真保 誠議員、谷 守議員、中山義隆議員、西川 剛議員、湊 祐介議員、村上緑一議員。

議会運営委員会委員に大西 陽議員、奥山かおり議員、加納由美子議員、佐藤 正議員、真保 誠議員、中山義隆議員、西川 剛議員。

以上でございます。

○議長（山居忠彰君） お諮りいたします。ただいま朗読したとおり選任いたしたいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、常任委員会委員及び議会運営委員会委員は、ただいま朗読したとおり選任することに決定いたしました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第4、常任委員会正副委員長及び議会運営委員会正副委員長の選任を行います。

この選任については、士別市議会委員会条例第8条第2項の規定により、議長が会議に諮って選任することとなっておりますので、直ちに正副委員長の氏名を事務局長が朗読いたします。

○議会事務局長（岡崎忠幸君） 常任委員会正副委員長及び議会運営委員会正副委員長の御氏名を申し上げます。

総務産業常任委員会委員長に真保 誠議員、副委員長に中山義隆議員。

文教厚生常任委員会委員長に佐藤 正議員、副委員長に奥山かおり議員。

予算決算常任委員会委員長に喜多武彦議員、副委員長に大西 陽議員。

議会運営委員会委員長に大西 陽議員、副委員長に西川 剛議員。

以上でございます。

○議長（山居忠彰君） お諮りいたします。ただいま朗読したとおり選任いたしたいと思います。
これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、常任委員会正副委員長及び議会運営委員会正副委員長は、ただいま朗読したとおり
選任することに決定いたしました。

ここで、各委員会開催のため、暫時休憩いたします。

（午前１０時２５分休憩）

（午前１０時５１分再開）

○議長（山居忠彰君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程第５、報告第５号 繰越明許費繰越計算書について及び報告第６号 予算繰越計算書に
ついて、以上２案件を一括議題に供します。

提案者の説明を求めます。法邑副市長。

○副市長（法邑和浩君）（登壇） ただいま議題となりました報告第５号 繰越明許費繰越計算書
及び報告第６号 予算繰越計算書について御説明申し上げます。

令和５年度予算を６年度に繰り越して執行するのは、能登半島地震被災地支援事業をはじめ
とする一般会計１１事業及び下水道事業会計１事業です。

いずれも、実施時期及び国の予算との関連から、５年度予算における繰越明許費の措置につ
いてそれぞれ議決をいただいているところです。

本年度に執行できる額及び財源内訳は繰越計算書のとおりであり、地方自治法施行令第１４６
条第２項及び地方公営企業法第２６条第３項の規定により御報告いたします。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御発言がなければ、以上で報告を終わることに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、報告第５号及び報告第６号の２案件は報告を終わることにいたします。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第６、報告第７号 事故繰越し繰越計算書についてを議題に供
します。

提案者の説明を求めます。法邑副市長。

○副市長（法邑和浩君）（登壇） ただいま議題となりました報告第7号 事故繰越し繰越計算書について御説明申し上げます。

施設園芸生産基盤緊急支援事業において、事業参加者の調整や北海道との協議等に期間を要し、令和5年度内の事業完了が困難となったことから、やむを得ず本年度に事故繰越しするものであり、地方自治法施行令第150条第3項の規定により御報告いたします。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御発言がなければ、以上で報告を終わることに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、報告第7号は報告を終わることにいたします。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第7、議案第44号 士別市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。大橋総務部長。

○総務部長（大橋雅民君）（登壇） ただいま議題となりました議案第44号 士別市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について、その概要を御説明申し上げます。

本改正は、生活保護法の改正により、従来の進学準備給付金制度が進学・就職準備給付金制度へと改められたことに伴い、必要な文言整理を行うものです。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第44号は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第8、議案第45号 士別市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。池田経営管理部長。

○経営管理部長（池田 亨君）（登壇） ただいま議題となりました議案第45号 士別市職員の定

年等に関する条例の一部を改正する条例について、その概要を御説明申し上げます。

本改正は、市立病院医師の定年を、人材確保が困難な職種であることなどから、65歳から67歳に延長しようとするものです。

意欲ある高年齢医師の能力や経験を活用して医師体制確保を図るとともに、多様な働き方を示すことで新たな医師招聘への環境整備に向け、所要の改正を行うものです。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第45号は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第9、議案第46号 士別市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について及び議案第81号 令和6年度士別市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について、以上2案件を一括議題に供します。

提案者の説明を求めます。丸市民部長。

○市民部長（丸 徹也君）（登壇） ただいま議題となりました議案第46号 士別市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について並びに議案第81号 令和6年度士別市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について、関連がありますので一括してその概要を御説明申し上げます。

初めに、士別市国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてです。

国民健康保険税は、国保事業費納付金などの財源を確保することを目的として税率を設定しているところです。

令和12年度からの北海道保険料水準の統一を6年後に控え、現行税率と北海道が示す標準税率に乖離が生じていることや、被保険者の急激な負担増を避けるためにも段階的な税率の引上げが必要な状況になっているところです。

そこで、今年度の税率については、過日開催された士別市国民健康保険運営協議会の答申を踏まえ、当面の国保財政の見通しや被保険者の負担を考慮し、国保支払準備基金を活用しつつ、実態に即した見直しを行うものです。

次に、税率改定の内容についてです。

まず、基礎課税分は、所得割を現行の8.27%から0.15ポイント引き上げ8.42%に、被保険者1人当たりの均等割は2万7,000円から200円引き上げ2万7,200円に、1世帯当たりの平等割

は2万7,000円から500円引き上げ2万7,500円に、後期高齢支援分については、所得割を現行の2.58%から0.09ポイント引き上げ2.67%に、均等割は8,000円から500円引き上げ8,500円に、平等割は8,000円から700円引き上げ8,700円に、さらに、介護納付金分については、所得割を現行の1.97%から0.03ポイント引き上げ2%に、均等割は8,000円から300円引き上げ8,300円とするものです。

また、地方税法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の後期高齢者支援金に関する賦課限度額を22万円から24万円に引き上げるとともに、低所得者に対する軽減判定所得の基準額については、5割軽減対象世帯は被保険者1人につき29万円から29万5,000円に、2割軽減対象世帯は被保険者1人につき53万5,000円から54万5,000円にそれぞれ引き上げるほか、国民健康保険税の減額基準の改正及び新型コロナウイルス感染症の影響による保険税の減免特例について、廃止を行うものです。

次に、令和6年度士別市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）についてです。

歳入においては、現年度分の国保税について、税条例の改正に伴い1,052万円を増額したほか、財産収入、繰越金について増額しました。

歳出では、令和6年度の事業費納付金が確定したことから752万1,000円を減額し、基金利息の増加により基金積立金1万円を追加計上したほか、普通交付金の精算に伴う返還金427万8,000円を計上しました。

なお、これらに要する財源については、国保支払準備基金繰入金1,804万1,000円を減額することで収支の均衡を図った次第です。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第46号及び議案第81号の2案件は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第10、議案第47号 士別市放課後等デイサービスセンター条例の一部を改正する条例について及び議案第48号 士別市こども通園センター条例の一部を改正する条例について、以上2案件を一括議題に供します。

提案者の説明を求めます。東川健康福祉部長。

○健康福祉部長（東川晃宏君）（登壇） ただいま議題となりました議案第47号 士別市放課後等デイサービスセンター条例の一部を改正する条例及び議案第48号 士別市こども通園センター

条例の一部を改正する条例について、関連がありますので一括してその概要を御説明申し上げます。

本改正は、児童福祉法の一部改正に伴い、当該条例で引用している箇所について整理が必要なため、所要の改正を行うものです。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第47号及び議案第48号の2案件は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第11、議案第49号 士別市介護保険総合条例の一部を改正する条例についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。東川健康福祉部長。

○健康福祉部長（東川晃宏君）（登壇） ただいま議題となりました議案第49号 士別市介護保険総合条例の一部を改正する条例について、その概要を御説明申し上げます。

高齢者福祉事業の生活支援ショートステイについては、本人や家族の課税状況や収入状況に応じて利用者負担段階を定め、利用料を設定していますが、本年8月の介護報酬改定に伴い、介護保険施設等における負担限度額の見直しに対応するため、所要の改正を行うものです。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第49号は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第12、議案第50号 士別市下水道条例の一部を改正する条例について及び議案第51号 士別市個別排水処理施設条例の一部を改正する条例について、以上2案件を一括議題に供します。

提案者の説明を求めます。藪中建設環境部長。

○建設環境部長（藪中晃宏君）（登壇） ただいま議題となりました議案第50号 士別市下水道条例の一部を改正する条例及び議案第51号 士別市個別排水処理施設条例の一部を改正する条例について、関連がありますので一括してその概要を御説明申し上げます。

本改正は、デジタル社会の実現に向けた構造改革を進めるため、国が策定したデジタル原則に照らした規制の一括見直しプランの趣旨を踏まえ、排水設備工事責任技術者の兼任を妨げないこととするため、所要の改正をするものです。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第50号及び議案第51号の2案件は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第13、議案第52号 北海道後期高齢者医療広域連合規約の一部変更についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。丸市民部長。

○市民部長（丸 徹也君）（登壇） ただいま議題となりました議案第52号 北海道後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について、その概要を御説明申し上げます。

現行の被保険者証を廃止し、マイナンバーカードと被保険者証が一体化されることを含んだ行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正に伴い、北海道後期高齢者医療広域連合規約の一部に変更が生じることから、地方自治法第291条の11の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第52号は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第14、議案第53号 士別市農業委員会委員の任命についてを議題に供します。

ここで地方自治法第117条の規定により、中山義隆議員の退席を求めます。

（中山義隆君退席）

提案者の説明を求めます。渡辺市長。

○市長（渡辺英次君）（登壇） ただいま議題となりました議案第53号 士別市農業委員会委員の任命について御説明申し上げます。

本年7月19日をもって任期満了となる農業委員について、新たな委員の候補として、農業者からの推薦のあった中山義隆氏を任命いたしたく、農業委員会等に関する法律第8条第1項の規定に基づき、議会の同意を求める次第です。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案に同意することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第53号は、原案同意と決定いたしました。

（中山義隆君着席）

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第15、議案第54号 士別市農業委員会委員の任命についてから議案第79号 士別市農業委員会委員の任命についてまでの26案件を一括議題に供します。

提案者の説明を求めます。渡辺市長。

○市長（渡辺英次君）（登壇） ただいま議題となりました議案第54号から第79号 士別市農業委員会委員の任命について一括して御説明申し上げます。

本年7月19日をもって任期満了となる農業委員について、新たな委員の候補として、農業者や農業関係団体等から推薦または応募のあった工藤修一氏ほか25名を任命いたしたく、農業委員会等に関する法律第8条第1項の規定に基づき、議会の同意を求める次第です。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案に同意することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(山居忠彰君) 御異議なしと認めます。

よって、議案第54号から議案第79号までの26案件は、原案同意と決定いたしました。

○議長(山居忠彰君) 次に、日程第16、議案第80号 令和6年度士別市一般会計補正予算(第3号)を議題に供します。

提案者の説明を求めます。法邑副市長。

○副市長(法邑和浩君)(登壇) ただいま議題となりました議案第80号 令和6年度士別市一般会計補正予算(第3号)について、その概要を御説明申し上げます。

本補正は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し実施する事業のほか、雪害による公共施設の修繕料など当面の措置を要するものについて所要の補正を行うもので、以下、その主な内容について御説明いたします。

初めに、総務費です。財産管理事業費では、雪害により破損した兵村会館の屋根修繕料86万9,000円を計上しました。

定額減税調整給付金給付事業費では、令和6年分所得税及び6年度個人住民税から定額減税として控除し切れないと見込まれる所得水準の方への給付金を支給するため、事務費と合わせて1億3,096万9,000円を計上しました。

物価高騰に伴う住民税非課税世帯給付金給付事業費では、6年度分の住民税が非課税である世帯に1世帯当たり10万円の現金を給付するため、事務費と合わせて2,107万1,000円を計上しました。

住民税均等割課税世帯給付金給付事業費では、6年度の住民税均等割のみ課税される世帯に1世帯当たり10万円の現金を給付するため、事務費と合わせて2,106万5,000円を計上しました。

住民税非課税子育て世帯等給付金給付事業費では、住民税非課税世帯及び均等割のみ課税される世帯への給付加算として、当該世帯において扶養されている18歳以下の子供1人につき5万円の現金を給付するため、事務費と合わせて301万8,000円を計上しました。

次に、衛生費です。

病院事業会計補助金では、過疎債のソフト分について追加配分の通知があったことから、財源振替を行うものです。

健康管理システム整備事業費では、予防接種法の一部改正に伴い、5種混合ワクチンの接種に対応するシステム改修が必要となったことから、これに要する経費50万6,000円のうち、現行予算で不足する12万1,000円を追加計上しました。

母子保健事業費では、国の令和5年度補正予算により母子保健法に基づき実施する乳幼児の健康診査において、新たに1か月児の健康診査費用を助成対象とし、乳児の健康の保持・増進と切れ目ない支援体制を整備するため、20万円を計上しました。

次に、教育費です。

情報通信教育推進事業費では、7年度以降に国の補助事業を活用した学習用ＩＣＴ端末を更新する場合、その補助要件として、6年度中に校内ネットワーク整備計画を策定することから、計画策定に向けた校内ネットワークアセスメント業務委託料330万円を計上しました。

スポーツイベント開催事業費では、株式会社セコマほか7社からの企業版ふるさと納税及び市内1社からの寄附金を財源にハーフマラソン大会実行委員会への補助金として380万円を追加計上しました。

また、独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金事業として、スポーツイベント開催事業費のサフォークランド士別ハーフマラソン大会開催経費で531万2,000円、朝日三望台シャンツェ整備事業費で8,000万円の助成金の採択を受けたことから、それぞれ財源振替を行うものです。

スポーツ交流館維持管理事業費では、雪害により破損した屋根の修繕料52万7,000円を計上しました。

なお、これらに要する財源については国・道支出金などの特定財源、雪害による修繕料の一部については全国市有物件災害共済会からの保険金を充当するほか、財政調整基金の一般財源をもって収支の均衡を図った次第です。

次に、地方債の補正については、歳出予算との関連から借入限度額の変更が必要となる事業について所要の措置を講ずるものです。

以上、今回の補正の概要を御説明申し上げます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。西川 剛議員。

○7番（西川 剛君） ただいま説明いただいています一般会計補正予算についてお聞きいたします。教育費、朝日三望台シャンツェ整備事業費の財源振替の内容について確認させてください。

ただいま提案説明の中で、その財源としてスポーツ振興くじ助成が8,000万円ということでの財源振替ということでございます。事業費総額は6億733万3,000円と変わっていないと承知をしておりますので、今回の助成金の増によってそのほかの特定財源の内訳がどのようになったのか、資料中では道支出金あるいは地方債と起債ともなっておりますので、補助金等の名称も併せて改めてお聞きをしたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（山居忠彰君） 徳竹合宿の里・スポーツ推進課長。

○合宿の里・スポーツ推進課長（徳竹貴之君） お答えいたします。

三望台シャンツェ整備事業費、先ほど提案説明にもありましたスポーツ振興くじ助成金8,000万円の内示により、当初予算で計上しておりました2,713万3,000円との差引き分5,286万7,000円を計上したところではありますが、その額に伴いまして、まずは地方債としてあります

合併特例債、こちらが2,180万円の減額、そして道支出金としてあります地域づくり総合交付金、こちらが3,110万円、これをt o t oの助成金の5,286万7,000円分の見合い分として減額しているところであります。

以上です。

○議長（山居忠彰君） 西川議員。

○7番（西川 剛君） 当初この財源としてt o t oのということでありまして、1億円を上限とした助成金を得るということもありまして、今回8,000万円ということでした。

そこで、今、振替財源の中で減額となった地方債、合併特例債についてお聞きいたします。

今回の朝日三望台シャンツェ整備事業に合併特例債最後の活用だということで説明をいただいているところですが、今説明のあったとおり、他の助成金、その他財源によって合併特例債の額が2,180万円減額だということで、枠が2,000万円程度生じているということなんですけれども、合併特例債としての今後の活用方針があれば教えてください。お願いします。

○議長（山居忠彰君） 法邑副市長。

○副市長（法邑和浩君） お答えします。

合併特例債につきましては、新市建設計画に基づいてこれまで発行して有効活用をしてまいりました。それで今回の三望台シャンツェ整備事業、これをもって予定の上限に達したということでありましたが、t o t oの助成金がついたということで、今回、計算上は2,180万円ほどの枠が余ったという形にはなっております。

ただ、この建設計画というもので特例債の活用をずっと考えてきましたので、これについてこの後の建設計画において活用するという予定は今していないところです。

例えばですけれども、無理に建設計画を変更して、この二千数百万円を充てるとしても、結局その3割というのは市の負担になってまいりますし、また、有利な起債の活用ということだけを考えれば、過疎債というものも同じように国のほうから7割の財政措置がありますので、今後、合併特例債については活用ないということで考えております。

○議長（山居忠彰君） 西川議員。

○7番（西川 剛君） 三望台シャンツェに関しては承知いたしました。

同じく教育費の中で、第37回土別ハーフマラソン開催事業費、こちらが増額補正と財源振替ということで提案されています。

今年のハーフマラソンでは、先ほど提案の中でもありました企業版ふるさと納税による資金応援を求めています。今回、一部指定寄附も加えまして380万円を財源として実行委員会の補助金が増額されています。

今回の補正によりまして、当初予算と合わせまして実行委員会への補助金総額が、当初830万円ということなので、今回の380万円を足せば1,210万円となります。ハーフマラソンのそもそもの事業費が今回のことによって増加するのということをお聞きをしたいと思います。

これまで、企業協賛金についてはハーフマラソンの実行委員会が直接お受けをしていたと承

知しておりますので、今回その部分、実行委員会の直接経費が今回の企業版ふるさと納税によって、結果、減っているとか、そういった事情についてお聞かせいただければと思います。

○議長（山居忠彰君） 徳竹課長。

○合宿の里・スポーツ推進課長（徳竹貴之君） お答えいたします。

西川議員がお話のとおり、当初の830万円に今回の380万円の補正ということで総額1,210万円ということで、直接的に市からの補助金については380万円の増という形になりますが、中身的に企業版ふるさと納税ということで、昨年度まで、議員お話のとおり、市内・市外合わせて企業様から直接的に実行委員会のほうに協賛金としていただいていた企業が、今年から企業版ふるさと納税に切り替えてということで、一度市を経由、実行委員会としてはその分が減額されるという形にはなりますので、この380万円が決定し次第、実行委員会のほうでは改めての精査になりますが、その分全てではありませんが、実行委員会に直接入る協賛金のほうは減額という形になるうかと思えます。

以上です。

○議長（山居忠彰君） 西川議員。

○7番（西川 剛君） 今年度、企業版ふるさと納税のお願いに当たって、その目的としましては第37回サフォークランド土別ハーフマラソン大会を魅力ある大会、魅力向上に活用するというところでお願いをされていると承知をしております。

今年度の市の補助金自体も、例年よりも200万円増という状況もありまして、改めて今回の大会においてこういった点に活用されるのかをお知らせいただければと思います。

○議長（山居忠彰君） 徳竹課長。

○合宿の里・スポーツ推進課長（徳竹貴之君） お答えいたします。

まず、今年新たにというところでいきますと、まずは参加をいただきます選手への安全性の向上というところで、交通警備員の増強ですとか、万が一、レース中に体調を崩された人たちに対する迅速な対応ということで、これまでの救護体制に加えて、常時コース付近にいる、サイクリング自転車のような形で2人一組体制でAEDも搭載した形でいる人たち3組6名、併せてコース内に入っている救護車、これまでの救護車に加えて外部の救護車1台の増台をし、しっかりと安全対策をしていこうというところ。

また、参加いただけるランナーに、これまでも4か所の給水ポイント、そこでスポーツドリンクですとか水のほうで給水箇所を設けていましたが、そこに併せて給水スポンジ、頭や体とかにかけるということで少しでも暑さ対策というところを考慮して給水スポンジの提供をしていきたいと思っております。

また、土別出身の漫画家であります高橋しんさんに、改めて土別ハーフマラソン大会用のイラストを描き下ろしていただいたりですとか、そういったものをポスターに活用させていただいたりですとか、併せて土別ならではの大会にすることによって、次年度以降も一般の参加者を増やしていきたいという思いから、土別観光協会と連携した形の中で土別グルメゾーンの設

置ということで進めていきたいと考えております。

そういったところで、数多くあるマラソン大会から士別を選んでいただけるような魅力アップを考えていきたいと思っております。

以上です。

○議長（山居忠彰君） 西川議員。

○7番（西川 剛君） 大会の安全運営に向けてということ、また魅力向上ということでありました。7月21日の大会が盛大に安全に開催されることを期待しているところでありますし、これ以降も士別のイベントとしてハーフマラソンが引き続き継続されることを願っています。

お聞きしています部分で、企業版ふるさと納税の今後ということでお聞きしたいと思います。

今説明いただいているとおり、これまでの各社協賛が企業としてもメリットのある形で今回支援をいただいているということがありますが、この制度を継続していただくこと、あるいはハーフマラソン以外のイベントなどにも拡充が期待できるのではないかなと思うんですけども、この企業版ふるさと納税の状況、今後の見通しなどについて見解いただければと思います。よろしくお願いします。

○議長（山居忠彰君） 大橋総務部長。

○総務部長（大橋雅民君） 企業版ふるさと納税全体を所掌している総務部のほうからお答えをさせていただきます。

企業版ふるさと納税、本市においては、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる3つの重点プロジェクトの推進に向けた取組について活用できるということで国のほうから認定を受けているところです。寄附者の希望を尊重しつつ、イベントなどへの活用をはじめ、有効的に活用をさせていただいているところです。

そこで、今後の企業版ふるさと納税なんですけれども、現時点では今年度で終了ということで国のほうでは通知がありますが、今後、国の動向を注視しつつ、継続される場合については、今回御支援いただいた企業をはじめ、あと合宿を含めた本市とゆかりのある企業に対して支援の御相談をしてみたいと考えているところです。

以上です。

○議長（山居忠彰君） 他に御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第80号は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第17、議案第82号 令和6年度士別市下水道事業会計補正予算

(第1号)を議題に供します。

提案者の説明を求めます。藪中建設環境部長。

○建設環境部長(藪中晃宏君)(登壇) ただいま議題となりました議案第82号 令和6年度士別市下水道事業会計補正予算(第1号)について、その概要を御説明申し上げます。

本補正は、令和5年度公共下水道事業特別会計及び農業集落排水事業特別会計の打切決算により、下水道事業会計の特例的収入及び支出額が確定したことに伴い、特例的収入及び支出の改正を行うものです。

あわせて、開始貸借対照表が確定したため、財政計画に関する書類として提出していた資料のうち変更が生じる開始貸借対照表、予定キャッシュ・フロー計算書及び予定貸借対照表を提出するものです。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。(降壇)

○議長(山居忠彰君) 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(山居忠彰君) それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(山居忠彰君) 御異議なしと認めます。

よって、議案第82号は、原案のとおり可決されました。

○議長(山居忠彰君) 次に、日程第18、議案第83号 令和6年度士別市病院事業会計補正予算(第2号)を議題に供します。

提案者の説明を求めます。中館病院事業副管理者。

○病院事業副管理者(中館佳嗣君)(登壇) ただいま議題となりました議案第83号 令和6年度士別市病院事業会計補正予算(第2号)について、その概要を御説明申し上げます。

本補正は、今年度の診療報酬改定を踏まえ、新たに算定を見込んでいる生活習慣病管理料の要件として複数回の使用が可能なりフィル処方箋への対応が必要なため、電子カルテシステムの改修費407万円を計上するものです。

また、本年4月に稼働を再開した2階病棟において、患者の入浴介助用ストレッチャーの使用状況が当初の想定を上回り、数に不足が生じていることから、入浴介助業務の安定的な運用と看護師負担の軽減を図るため、追加購入に要する経費241万8,000円を計上しました。

なお、これらに要する財源については地方債210万円を計上し、資本的収支不足額については、当年度分消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金をもって補填するものです。

次に、企業債の補正については、支出予算との関連から、所要の措置を講じるものです。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第83号は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第19、諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について及び諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について、以上2案件を一括議題に供します。

提案者の説明を求めます。渡辺市長。

○市長（渡辺英次君）（登壇） ただいま議題となりました諮問第1号及び諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について御説明申し上げます。

令和6年9月30日をもって2名の委員が任期満了となり、山下元喜委員を再度候補者として、中山義隆委員の後任に出原早苗氏を新任の候補者として推薦いたしたく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求める次第です。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） お諮りいたします。

本案については、推薦に同意することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、諮問第1号及び諮問第2号は、推薦同意と決定いたしました。

○議長（山居忠彰君） 次に、お諮りいたします。

総務産業常任委員長、文教厚生常任委員長及び予算決算常任委員長並びに議会運営委員長から会議規則第109条の規定により閉会中継続審査の申出があります。これを日程に追加し、直ちに議題にいたしたいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、特定事件の閉会中継続審査についてを日程に追加し、議題とすることに決定いたしました。

それでは、特定事件の閉会中継続審査についてを議題に供します。

お諮りいたします。本案については、いずれも各委員長の申出のとおり決定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は各常任委員長及び議会運営委員長の申出のとおり、委員の任期中、閉会中の継続審査とすることに決定いたしました。

○議長（山居忠彰君） 以上で、本日の日程は終了いたしました。

お諮りいたします。

議事の都合により、明８日から17日までの10日間は休会といたしたいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、明８日から17日までの10日間は休会と決定いたしました。

なお、18日は午前10時から会議を開きますので、御参集願います。

本日はこれをもって、散会いたします。

御苦労さまでした。

（午前11時44分散会）